

学会記事

2023年度第3回理事会議事録

日時：2024年4月13日（土）14:00～17:00

【WEB会議形式】

出席役員：出席理事40名，出席監事2名

- ・会長1名：岡田 誠
 - ・副会長2名：杉田律子・星 博幸
 - ・常務理事1名：中澤 努
 - ・副常務理事1名：緒方信一
 - ・執行理事11名：保坂（内尾）優子・内野隆之・加藤猛士・狩野彰宏・亀高正男・小宮剛・高嶋礼詩・辻森 樹・松田達生・矢部淳・山口飛鳥
 - ・理事会議長1名：小松原純子
 - ・理事会副議長1名：大橋聖和
 - ・理事22名（議長・副議長を除く）：青矢陸月・岩 寿一郎・天野一男・磯崎行雄・大友幸子・笠間友博・亀田 純・本郷（川村）紀子・北村有迅・斎藤 真・佐々木和彦・沢田 健・下岡和也・菅沼悠介（15時退出）・高野 修・野田 篤・保柳康一・松田博貴・三田村宗樹・道林克禎・矢鳥道子・山本啓司
 - ・監事2名：岩部良子・山本正司
- 事務局1名：澤木寿子
- 欠席役員：理事10名：尾上哲治・神谷奈々・平出（黒柳）あずみ・清川昌一・桑野太輔・坂口有人・西 弘嗣・細久卓志・榊原（堀）利栄・山路 敦
- ・審議開始に際し，本日の書記として保柳理事，高野理事を指名した。
 - ・小松原純子理事会議長によって，成立要件の確認がなされ，成立要件：理事総数50名の過半数25名，本日の出席者40名で本理事会は成立が確認された。なお，議決：出席者の過半数20名以上である。
 - ・引き続き小松原議長により報告事項の検討に入った。

報告事項

1. 執行理事会報告（中澤常務理事）

第6～9回の執行理事会議事録の中から，次の点が中澤常務理事より報告された。地質技術者教育委員会事項として，地質系大学卒業生の2020～2022年度の進路のまとめがニュース1月号に掲載，2023年度キャリアビジョン誌の発行，および第4回JABEEシンポジウム（3/3）の開催（シンポの内容はYouTubeで配信中）について報告があった。また地質災害委員会事項として，令和6年度能登半島地震に関する情報の学会HP掲載，防災学術連携体での報告会（1/31開催）に地質学会から発表がなされたことなどの紹介と被災会員への会費減免処置について報告があった。このほかに，専門部会関連事項，地質JIS改訂の検討，地学オリンピック関連，大学入試共通テストに対する意見書の提出について報告があった。

2. 理事，委員会，研究委員会報告

1) 総務委員会（亀高理事）

- ・会員動静（2024年3月末の会員数：賛助1,ジュニア4,正会員3032 合計3101,退会82,除籍88,昨年比-32で減り方が少なくなった）と逝去会員7名の報告があり，黙祷を行った。
 - ・永年会員顕彰者の報告。顕彰者は次の通り（敬称略）。
70年顕彰（4名）※1953年度入会。2023年度会費まで納入済：石井良治，加藤定男，武井 颯湖，山崎 允
60年顕彰（5名）※1963年度入会。2023年度会費まで納入済：小池春夫，滝沢文教，戸野聡，平野英雄，吉田 勝
50年顕彰（40名）※1973年度入会。2023年度会費まで納入済：相田喜久夫，天野一男，井内美郎，打江 進，岡市正秀，小田康則，角和善隆，我謝昌一，加戸敬亮，加藤真人，鹿野和彦，栗原俊己，黒田登美雄，酒井 彰，坂本正夫，坂本 満，穴戸俊夫，嶋崎統五，清水岩夫，下平真樹，菅谷政司，田切美智雄，竹内 章，田中俊廣，佃 栄吉，中川重紀，中原伸幸，長峰 智，中山 健，成田賢，西山忠男，廣井美邦，深沢徳明，堀江一教，三宅康幸，宮坂省吾，宮崎精介，宮田雄一郎，米澤正弘，渡辺拓美
40年顕彰（58名）※1983年度入会。2023年度会費まで納入済：伊藤順一，今村哲己，江崎洋一，江間 学，大内一男，大曾根 修，大藤智明，岡野裕一，乙藤洋一郎，角縁 進，加藤 徹，加藤幸弘，狩野彰宏，亀山正義，城井浩介，北沢久和，木原茂樹，倉本真一，小出和正，上阪佳史，此松昌彦，今野隆彦，五月女 寛，坂井敬一，坂井 充，佐脇貴幸，清水 智，瀬戸浩二，高見智之，滝本俊明，竹内圭史，竹内 誠，竹之内 耕，蓼本英史，田中 淳，田中竹延，寺井邦久，寺林優，鳥居直也，中里裕臣，中野 俊，兒子修司，野坂俊夫，原 光宏，原澤宏和，備前貴俊，福地龍郎，布施圭介，星住英夫，本間直樹，班目芳光，松本和彦，松本茂喜，三田村宗樹，三戸 望，宮坂 晃，村松 武，茂庭隆彦
- #### 2) 行事委員会（山口理事，高嶋理事）
- ・2024年山形大会について，日程：9月8日（日）～10日（火），シンポジウム，トピックセッション，巡検コースが紹介された。2025年熊本大会は9月14日（日）～16日（火）開催予定。プレ巡検，ポスト巡検の9コースを予定。2026年は中部支部担当。開催大学は現在検討中。
 - ・2/25海底鉱物資源についてのショートコースを実施（参加者43名）。参加者アンケートの結果が報告された。次回実施内容を計画。報告の後，山形大会，熊本大会の巡検コースに関する質問がいくつか出た後，斎藤理事より，山形大会は科研費が不採択であった。結果を分析して今後の戦略や科研費以外の資金調達も検討してもらいたい，との意見があった。これに対し，高嶋行事委員

長より，山形大会は県コンベンションからの助成金を活用する予定との補足説明があった。

3) 専門部会連絡委員会（代理中澤常務）

各部会からの2023年度活動報告が紹介された。どの部会も積極的に活動が行われており，大会時のランチョンなどにより情報交換などがされている。部会からは，部会のメーリングリストが使えなくなったので不便との意見が出ている。これについては，現在メルマガ方式の部会毎の配信機能を準備中である旨，執行理事会から説明があった。

4) 地質学雑誌編集委員会（小宮理事）

論文投稿がやや低調。昨年比-4であることから，理事各位へも投稿が促された。

5) Island Arc編集委員会（辻森理事）

2023年は55件投稿であり例年より少なめであった。2024年は現在21件で比較的順調であるが，さらなる投稿が求められた。受理率の状況について説明があった。

6) 地質の日（矢部理事）

各支部などの行事予定が紹介された。5/12オンライン講演会のYouTube配信を広く視聴してもらうため，博物館やジオパークなどでパブリックビューイングを開催してもらう呼びかけを行っている。取り組みがあれば申請してほしい旨発言があった。街中ジオ散歩（応用地質学会共催）は，今年も東京都内（港区麻布周辺）で実施予定。

7) 支部長連絡会議（杉田副会長）

2023年度支部活動の報告があり，コロナ禍収束で支部活動が元に戻ってきている傾向にある旨報告があった。

8) 若手活動運営委員会（下岡理事）

地質系業界オンライン交流会（2/16）の実施報告，山形大会での「学生・若手のための交流会」（大会前日9/7夕方）の開催予定，若手巡検の準備状況が報告された。若手巡検は，本年10～11月にバスによる名古屋駅発着の中部地方日帰り巡検を計画。学生会員へは参加費の半額補助がある。

9) 選挙管理委員会（代理中澤常務）

理事選挙結果報告があった。代議員による投票は，投票総数133票で投票率78%であった。地方支部区理事および監事選挙は無投票当選であった。

小松原理事より，立候補者の属性表記（若手，女性）について，少数者のみ区別して表記するのではなく，所属区分のように全員の属性を示すべきではないかという意見があった。

10) その他：IGC2024年について現状報告（岡田会長）

3rdサーキュラーには「竹島巡検」はなくなったが「East Sea」の表記が一部残っている。日本学術会議IUGS分科会からIUGS President宛に懸念を伝えるレターが送付された。

10分間の休憩後，15:00から再開。後半の審議事項は大橋副議長により進められた。

審議事項

- 「大地と人の物語～地質学で読み解く日本の伝承～(仮)」出版企画提案(天野理事)
出版社より、ジオパーク支援委員会主催のシンポジウム(2023/1/28開催)の内容をもとにした書籍出版の誘いがあり、ジオパーク支援委員会より出版企画が提案された。日本地質学会編とし、150ページ、オールカラー、初刷3000部(予定)、電子出版も計画。支援委員会メンバーや企画出版委員会で編集委員会を組織する。編集委員長は野村律夫会員。以上の内容を審議して、賛成多数で企画提案は承認された。
- 2024年度研究奨励金支給対象者の決定(内野理事)
3月の選考委員会で選考し、6名(吉本剛瑠会員、都丸大河会員、小坂日奈子会員、小西拓海会員、三村匠海会員、金指由維会員)を採択したことが報告された。なお支給額は最大20万円。一部の採択者については金額の妥当性を審査して減額した。この提案は賛成多数で承認された。
- 2024年度名誉会員候補者の選出(星副会長)
名誉会員推薦委員会の総意として、加藤碩一会員、狩野謙一会員、鳥海光弘会員の3名が名誉会員候補者として推薦理由とともに提案された。提案は賛成多数で承認された。
- 2024年度学会各賞受賞者の決定(三田村理事)
各賞選考委員会三田村委員長より、受賞候補者の選考結果について報告がなされ、審議の結果、賛成多数で承認された。受賞者は以下の通り。
都城秋穂賞(1件):Gregory F. Moore氏
ナウマン賞(1件):岡本 敦会員
小澤儀明賞(1件):羽田裕貴会員
柵山雅則賞(1件):奥田花也会員
日本地質学会Island Arc Award(1件):Sawaki, Y., et al (2020) 29. e12361.
論文賞(1件):Nakajima, T., et al (2020) 29. e12349.
小藤次郎賞(1件):岡本 敦会員
地質学雑誌特別賞(1件):牛丸健太郎ほか(2020) 126巻, 631-638
研究奨励賞(5件):福島 諒会員, 木下英樹会員, 武藤 俊会員, 渡部将太会員, 吉田聡会員
学会表彰(1件):夏原信義氏
(学会賞, 功績賞, フィールドワーク賞は該当者なし)
各賞選考委員会および各賞選考検討委員会から、推薦、選考にかかわる内容について理事会へ多数申し送りがあった。これらについては、執行理事会で議論を進めることとした。
- 2023年度事業実績概要の確認(中澤常務)
前回理事会(12月)以降に実施された事業の追記について確認の上、承認された。
- 2024年度事業計画骨子の確認(岡田会長)
計画骨子概要の修正点として、学術大会、学術研究活動、出版計画、地質災害対応、広

- 報・普及活動、社会貢献、地学教育、国際連携、会員サービス・学会運営について説明があった。天野理事から出版活動について、本理事会の審議事項1で承認された書籍の出版予定を追加するよう提案があり、前回の理事会以降の概要修正点を含めて承認された。
- 2023年度収支決算(亀高理事)
決算について説明があり、賛助会員が増えて賛助会費収入が増えた点、年会収入が増えた点、支出はほぼ予算通りである点、総収支は若干の黒字になる点などが述べられた。賛成多数で承認された。
 - 2024年度予算案(亀高理事)
予算案について説明があり、会費収入は会員減により減少を見込んでいる点などが述べられた。賛成多数で承認された。
 - 日本地質学会運営規則の変更(Island Arc Awardの廃止)の提案(辻森理事)
出版社によるプロモーション活動の一環として創設された本賞について、当初の目的が達成され、出版社からの賞金が2022年度を最後に廃止されたこと、本賞の対象は論文賞の表彰対象にもなっていることなどの理由から、賞の廃止が提案された。あわせて中澤常務理事からこれに伴う日本地質学会運営規則の改正が必要な旨が説明された。規則の改正を総会に提出することが賛成多数で承認された。
 - 総会議案の決定(中澤常務):
第1号議案 2023年度事業報告・決算報告・監査報告
第2号議案 代議員、理事および監事選挙結果報告
第3号議案 2024年度事業計画
第4号議案 2024年度予算案
第5号議案 名誉会員の選出
第6号議案 運営規則の変更(Island Arc awardの廃止について)
これらの議案の提案について賛成多数で提案された。
 - その他
・Island Arc編集委員会新規委員1名追加:長谷川 卓会員(金沢大学)専門:古生物)任期:~2024年6月総会まで。
狩野理事から提案され、賛成多数で承認された。
- ## 監事報告
- 監事より今回の理事会に関連したコメントが述べられた。
(岩部監事) 2023年度から検討をしている学会ホームページの刷新作業を本格的に取り組んでほしい。また新会員システムについて、会員へのさらなる周知をすすめ、業務の効率化に繋げてもらいたい。
(山本監事) 審議事項の1について、出版企画の提案は「地質」の魅力を伝えるユニークな企画であるので積極的に進めてほしい。
- 以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び出席監事・理事は次に記名・捺印する。

2024年5月7日

- 理事:議長 小松原純子
理事:副議長 大橋聖和
代表理事:会長 岡田 誠
理事:副会長 杉田律子
理事:副会長 星 博幸
監事:山本正司
監事:岩部良子
理事:出席理事名(省略)

2023年度第9回執行理事会議事録

日程:2024年3月16日(土)13:00~16:00

【WEB会議】

- 出席:岡田 誠, 杉田律子, 星 博幸, 中澤 努, 緒方信一, 内尾(保坂) 優子, 亀高正男, 小宮 剛, 坂口有人, 高嶋礼詩, 辻森 樹, 矢部 淳
監事:岩部良子
欠席:内野隆之, 尾上哲治, 加藤猛士, 狩野 彰宏, 松田達生, 山口飛鳥, 山本正司(監事)
事務局 澤木
*定足数(過半数:10)に対し、執行理事12名の出席
*前回23-8議事録案について、本執行理事会にて承認された。

報告事項

- 全体的報告
・地質地盤情報の活用と法整備を考える会(代表 栗本史雄)より2024年4月(予定)に一般社団法人に移行し、今後名称を「国土デジタル情報研究所 地質地盤情報の活用と法整備を考える会」として活動する旨連絡があった。
・文部科学省より、令和7年春の科学技術に関する黄綬、紫綬及び藍綬褒章受章候補者の推薦依頼があった。
- 運営財政部会(亀高・加藤)
1) 総務委員会
<共催・後援依頼、他団体の募集、連絡等>
・令和6年度第19回筑波大学朝永振一郎記念「科学の芽」賞より後援依頼があり、承諾した。
・三浦半島活断層調査会より、地質の日記念「深海から生まれた城ヶ島」地層見学会(2024/6/2開催)への後援依頼があり、承諾した。
- <会員>
1. 今月の入会者:4名(2024年度からの入会)
正会員一般(3名)金栗 聡, 古川稔子, 米倉優太
正会員学生(1名:単年度)前田宗孝
2. 今月の退会者:なし
3. 今月の逝去者:1名